

月刊

ENG O

最終号

2016年6月1日

カトリック大阪大司教区 ENGO プロジェクト

発行責任者：松村繁彦（香里教会）

連絡先：TEL：072-834-3800

FAX：072-833-9271

e-mail: engo@osaka.catholic.jp

支援金で幼稚園バス寄贈 アンパンマンバスが 原町の子どもに笑顔を

福島県の原町ボランティアベーススタッフの仲介で、2015年秋から構想を練っていた計画が実現した。

南相馬市原町は震災と放射能汚染の危険性から多くの住民が一時避難していた。5年経った今、除染作業も徐々にではあるが進み、街は少しずつ活気が戻りつつある。そんな中、原町にあるカトリックさゆり幼稚園には子どもたちが徐々に集まり始めてきた。

なかには住み慣れた家を出て幼稚園から距離が離れた家族もいるが、地域に愛され、親しまれてきた幼稚園に通わせたいという思いもあり、その声に応え大阪教区 ENGO プロジェクトが資金援助の相談に乗ることとなった。

幼稚園事業ではあるが震災の影響によるということから、ENGO に送られた募金を子どもたちのために寄贈し、2016年3月11日に試運転、4月から本格稼働となった。子どもたちは新しいアンパンマンのバスに乗り、笑顔の内に現在元気に通園を始めている。



上：大阪教区 ENGO より寄贈されたアンパンマンバス



左：喜びの子どもたちと教諭

月刊 ENGO 最終回 災害支援委員会(ENGO)へ 熊本の支援にも乗り出す

5年前の復活祭に東日本大震災復興支援のために発足した ENGO プロジェクト。大阪教区前田万葉大司教と司祭評議会は2016年に各種委員会の機構改革を行うことを決め、この6月から ENGO プロジェクトも正式な委員会となることが決定した。今までは被災時その都度対策室を設置し対応していたが、将来的な予測や昨今の天災の状態を目の当たりにして、備えと準備は欠かせず、またその対象は国内外を問わない。全国各教区の復興支援担当部署や中央協議会のカリタスジャパンとも連携を取りながら、支援が必要な人々に少しでも寄り添うことができるという意向から専門委員会の設置の運びとなった。ただし ENGO の名は少しずつ定着してきているため、残していきながら新たな支援の広がりを持っていきたいと感じる。

そのため月刊 ENGO は今回で最終回とし、今後は教区の情報と合わせて発信していきたいと考えている。なお、東日本大震災復興支援に関する募金活動やボランティア派遣は今まで通り行い、新たな災害支援に対しても、ENGO の名で呼びかけていきたい。

今回の熊本地震においても下記の通り東日本大震災と分けて呼び掛けている。

募金送金先

郵便振替口座：01110-0-7464

加入者名：カトリック大阪大司教区

通信欄に必ず「熊本地震支援金」とお書きください。

2015年度の活動より

①復興支援全国会議

被災地に毎年全国の担当者が集い、現状を視察し、現場の声に耳を傾け、将来へ向けた全国的な動きを模索している。

青森・岩手・宮城と福島とは違う働きかけが必要なことは既に見えていたが、具体的な取り組みについては行政の動きとなる。教会として取り組む必要なことは、第一に「祈り」、そして「忘れない」ことであり、どのように地域の人々と寄り添うか？を模索することである。そして被災地の人々からは「来て！そして現地を見て感じ取って」というニーズである。その地域への財政的貢献も必要であり、「旅行に来て帰るだけでも大きな貢献」と呼びかけがある。

②東北チョコレートプロジェクト

医療団体とのコラボレーションで、昨年春にバレンタインデー・ホワイトデーで売れ残った商品を貰い受け、現地に配送した。綺麗にラッピングされたチョコレートは子どもから年配者まで配られ喜ばれた。

2015年度 ENGO プロジェクト収支決算

(2015年4月～2016年3月)		
【収入の部】		(単位:円)
摘 要	金 額	
ENGOプロジェクト献金	教会関係	525,142
	修道会・諸団体	376,429
	個人	60,000
献金合計		961,571
前期繰越金		4,787,001
収入合計		5,748,572
【支出の部】		
摘 要	金 額	
ボランティア派遣支援助成費	370,000	
発送費(東北チョコレート送料)	60,720	
携帯電話料	15,584	
6/2/-7/1 東日本大震災復興支援全国会議費	134,432	
仙台教区支援金(「原町さゆり幼稚園」園バス購入資金を含む)	4,000,000	
合計		4,580,736
次 期 繰 越 金		1,167,836
支出合計		5,748,572

ご協力ありがとうございました。

ボランティア支援制度

被災地は一人でも多くのボランティアを求めています。大阪教区 ENGO プロジェクトは下記の表に従い派遣者に対して **①申し込み ②事前面接 ③事後報告書の提出**により交通費等の補助を、皆さまの寄付金から拠出させていただき、多くの方が被災地に赴きやすいようにしています。複数回利用可です。どうぞ御利用下さい。

パネルの貸出し

ENGO プロジェクトはパネルの貸し出しも行っています。今までには区民センターや社会福祉施設を始め、学校・幼稚園、教会などでも広く活用されており、その他の学習会や、種々の催し物でもご使用いただいています。ご利用希望の方はお気軽にご連絡下さい。 **(A3版 28枚セット)**

*尚、震災当時を忘れない事を目的に作成されましたので、現在の状況を映したものはございません。

ボランティア支援制度

(交通費等補助支援制度)

1週間(往復の日程を含み、
実質作業**5日**以上)
条件: ①事前申し込み&面談
②事後報告書提出
補助: **30,000円**
(報告書提出後振込)

2週間(往復の日程を含み、
実質作業**10日**以上)
条件: ①事前面談&面談
②事後報告書提出
補助: **50,000円**
(報告書提出後振込)

*問合せ・申込みは ENGO プロジェクトまで E-mail: engo@osaka.catholic.jp
面談・対応: ENGO プロジェクト担当司祭(神田神父・松村神父・春名神父)